

各位

## 子どもの貧困問題を考えるワークショップへのお誘い

師走の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、長崎県大村市におきまして、平成30年1月20日（土）と21日（日）に子ども貧困問題を考える「第12回カメラアこころのワークショップ」を開催する運びとなりました。

このワークショップは参加者主体の体験型研修であり、これまで11回の開催で540名余りの方にご参加いただいております。

今回は「子どもの貧困」に焦点を絞ったワークショップにしたいと考えています。

日本の貧困率は年々上昇し、貧困世帯で育つ子どもの割合は、先進国のなかでも上位に位置しています。厚生労働省が発表した「子どもの相対的貧困率」は2012年に過去最悪の16.3%に上り、6人に1人の約325万人が「貧困」に該当し、深刻な社会問題となっています。

急速に進む少子高齢化によって人口減少が避けられない中で、この国にある貧困問題について、その原因と背景を知り、何が必要なのか、一緒に考える機会にしたいと思っております。

講師には、公益財団法人あすのば代表理事の**小河 光治氏**をお迎えします。小河氏はあしなが育英会に専従し神戸レインボーハウス館長、奨学課長、調査担当、子どもの貧困担当などを歴任したのち、26年間勤務したあしなが育英会を退職。内閣府「子どもの貧困対策に関する検討会」構成員（2014年）、内閣府「休眠預金等活用審議会」専門委員、文部科学省「高校生等への修学支援に関する協力者会議」委員等を務めながら、公益財団法人あすのば代表理事のお立場から、子どもの貧困の実態に基づく政策提言、子どもを支援する団体への中間支援、貧困状態にある子どもへの直接支援などを行っております。

更に、**村井 琢哉氏**「NPO法人山科醍醐こどものひろば」理事長を講師としてお迎えします。村井氏はあすのば副代表理事、京都子どもセンター理事、京都府子どもの貧困対策検討委員を務められています。

このお二人と一緒に、「子どもたちとつくる貧困とひとりぼっちのないまち」（共著、かもがわ出版2013）を手掛かりとして、レクチャーとグループワークを進めていきます。

日頃から貧困問題に携わっている方はもちろん、関心のある方に多数ご参加いただきたく存じます。

プログラム・募集要項を添付いたしますので、ご覧頂きますようお願い申し上げます。

平成29年12月吉日  
医療法人カメラア 理事長  
長岡 和

第12回カメラアこころのワークショップ事務局  
担当 山内、中村、北島  
〒856-0023 長崎県大村市上諏訪町1095  
医療法人カメラア 大村共立病院  
TEL : 0957-53-1121 Fax : 0957-52-6717  
[workshop@camellia.or.jp](http://workshop@camellia.or.jp)

## 第12回 カメリアこころのワークショップ — 『子どもの貧困』を考える —

### 参加者募集要項

ワークショップ研修を開催いたしますので、以下の要領でお申し込み下さい。

- 1、開催日時：平成30年1月20日（土）13:30-18:45 及び 1月21日（日）9:30-12:30
- 2、開催場所：大村市男女共同参画推進センター「ハートパル」 多目的室  
長崎県大村市西三城町8番地 大村市総合福祉センター3階 TEL：0957-54-8715  
<https://www.city.omura.nagasaki.jp/kouhou/shise/shokai/shisetsu/sonota/04.html>
- 3、参加対象：  
医療福祉関係者、行政職員、教職員、学校保健、産業保健に携わる者、教育・医療福祉系の研究者・学生、貧困問題に取り組む民間団体、貧困に関連した社会問題に対して関心のある報道関係者等。上記以外でも、貧困問題に関心があり、それについて実際に関わる機会があるまたは予想される方。いずれも、守秘義務を守ることができる方に限る（なお、当法人において治療関係にある方は原則的に参加をご遠慮下さい）。また、ワークショップ研修の性格上、プログラムの最初から最後のセッションまでなるべく参加出来ること。
- 4、募集人員：50名程度
- 5、募集期間：平成29年12月～平成30年1月12日（金）
- 6、参加費用：無料  
\*1日目のワークショップ終了後に懇親会を実施します（自由参加、会費3,500円/人）。  
『パープークラブ』大村市本町328-1（2F）TEL 0957-52-3958（会場から徒歩20分程）
- 7、応募要領：別紙（参加申込書）に記入後、下記送付先へ郵送・FAX・メールのいずれかにてお申し込み下さい。

医療法人カメリア 大村共立病院 第12回カメリアこころのワークショップ事務局 宛  
〒856-0023 長崎県大村市上諏訪町1095  
TEL：0957-53-1121 FAX：0957-52-6717  
E-MAIL [workshop@camellia.or.jp](mailto:workshop@camellia.or.jp)

- 8、その他：  
宿泊については、各自で手配して下さい。  
気楽に議論ができるようノーネクタイ・ノースーツのカジュアルな服装でご参加下さい。  
子どもの貧困対策全国キャラバン in 長崎との申し込みは別途、お願いします。

## ワークショップのプログラム（講師との打ち合わせを重ねる段階で一部変更もあります）

1日目 平成30年1月20日（土）

13時00分	～	13時30分	受付
13時30分	～	14時00分	開会、オリエンテーション
14時00分	～	15時30分	アイスブレイキング、講義
15時30分	～	17時00分	グループワーク①
17時00分	～	18時00分	全体会
19時00分	～		懇親会

2日目 平成30年1月21日（日）

9時30分	～	10時00分	全体会（1日目振返り）
10時00分	～	11時30分	講義、グループワーク②
11時30分	～	11時45分	全体会、閉会式

### <ワークショップ講師>

#### 小河 光治（おがわ・こうじ）

1965年、愛知県小牧市生まれ。8歳の誕生日に父が交通事故にあい8年間、寝たきりの末、他界。交通遺児育英会と日本育英会の奨学金で進学。明治大学卒業後、あしなが育英会に専従。神戸レインボーハウス館長、奨学課長、調査担当、子どもの貧困担当などを歴任し、2015年3月に26年間勤務したあしなが育英会を退職。福島大学大学院地域政策科学研究科修了。同年6月、子どもの貧困対策センター「一般財団法人あすのば」を設立し、代表理事に就任。2016年4月「公益財団法人あすのば」に移行。内閣府「子どもの貧困対策に関する検討会」構成員（2014年）、内閣府「休眠預金等活用審議会」専門委員（2017年～）、文部科学省「高校生等への修学支援に関する協力者会議」委員（2017年～）。

#### 村井 琢哉（むらい・たくや）

1980年生まれ、京都出身。「NPO法人山科醍醐こどものひろば」理事長。関西学院大学人間福祉研究科修了、社会福祉士。子ども時代より「山科醍醐こどものひろば（当時は「山科醍醐親と子の劇場）」に参加。たくさんの“人間浴”をしながら育つ。学生時代には、キャンプリーダーや運営スタッフを経験し、常任理事へ。ボランティアの受け入れの仕組みの構築等も行う。副理事長、事務局長を歴任し、2013年より現職。公益財団法人あすのば副代表理事、京都子どもセンター理事、京都府子どもの貧困対策検討委員。「子どもたちとつくる貧困とひとりぼっちのないまち」（共著、かもがわ出版2013）

※関連講演会については、チラシをご確認ください。

ワークショップ参加者はワークショップ会場から講演会会場には無料送迎車（シャトルバス）をご利用いただけます。

(別紙)

第12回カメラアこころのワークショップ  
参加申込書

表題のワークショップへ参加を希望いたします。

応募者氏名： \_\_\_\_\_  
\*氏名にふりがなをふって下さい。

性別： \_\_\_\_\_

年齢： \_\_\_\_\_ 歳

所属/職種： \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_

職場住所(連絡先)： 〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

職場電話/FAX : TEL: \_\_\_\_\_ / FAX: \_\_\_\_\_

メールアドレス : \_\_\_\_\_

懇親会： \_\_\_\_\_ (参加します(領収書の宛名 \_\_\_\_\_) / 参加しません \_\_\_\_\_)  
※懇親会費は当日会場にてお支払い下さい。

通信欄：不明な点がございましたら、ご記載下さい。